

見習い仙女の 妖魔退治 四









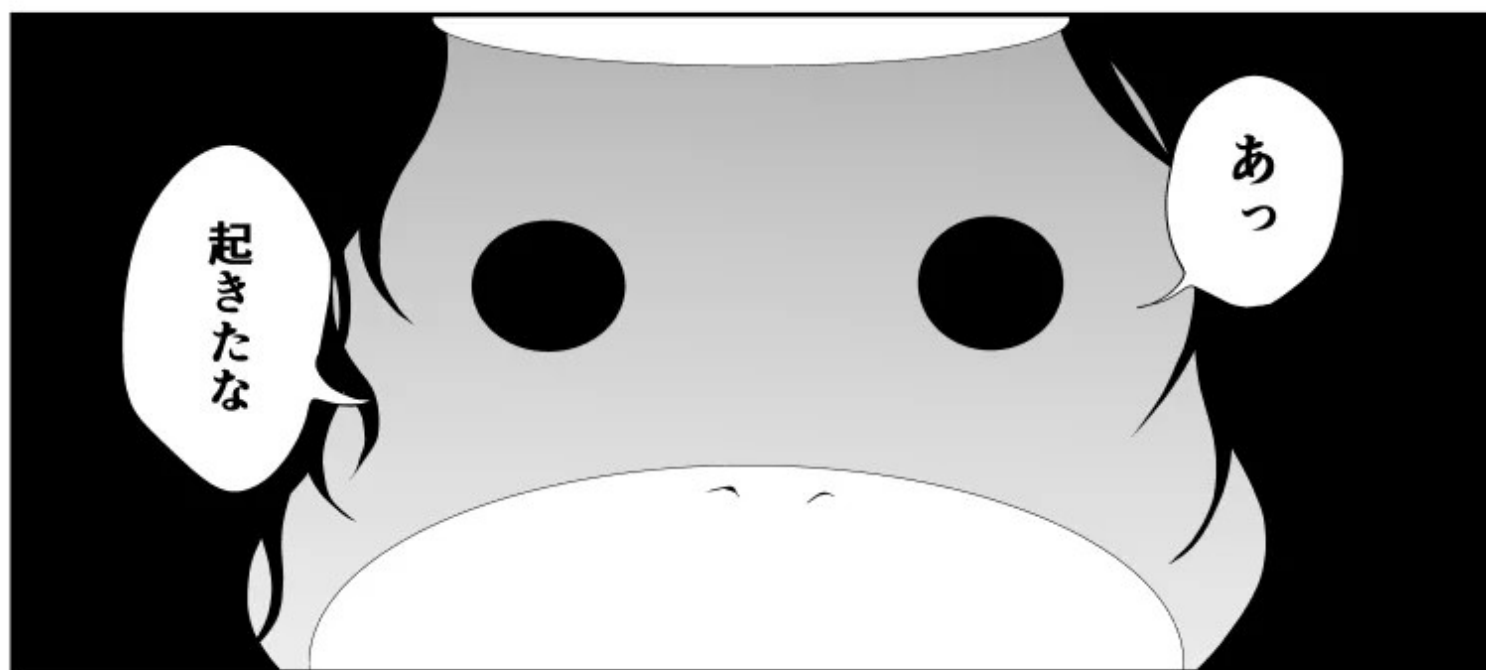


あい
相も変わらず
お寝坊さんね



起床の
時間よ

メイヘイ
美黒





…

まんまと
してやられたと
いうことじゃよ

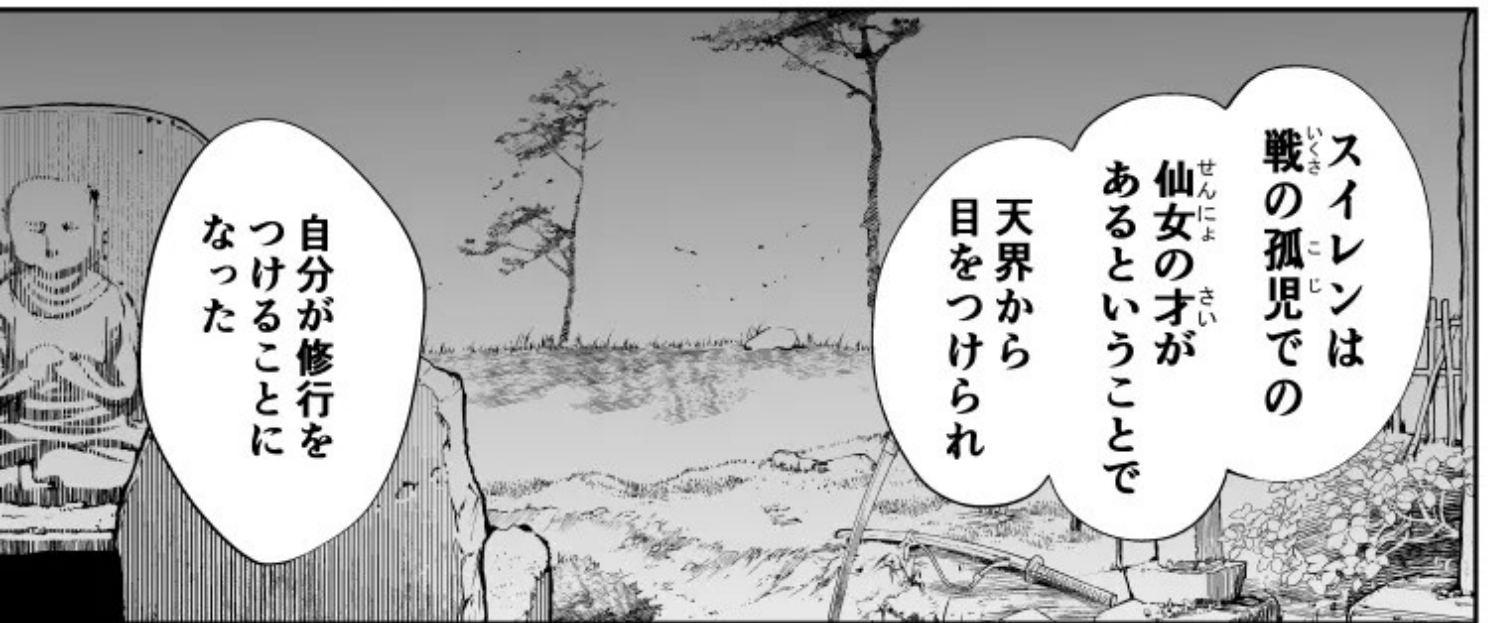
師匠と
弟子が
揃って—



…元…
…弟子…



破門された
元弟子の
スイレンにの



スイレンは
戦の孤児での

せんによ さい
仙女の才が
あるということ

天界から
目をつけられ

自分が修行を
つけることにな
った

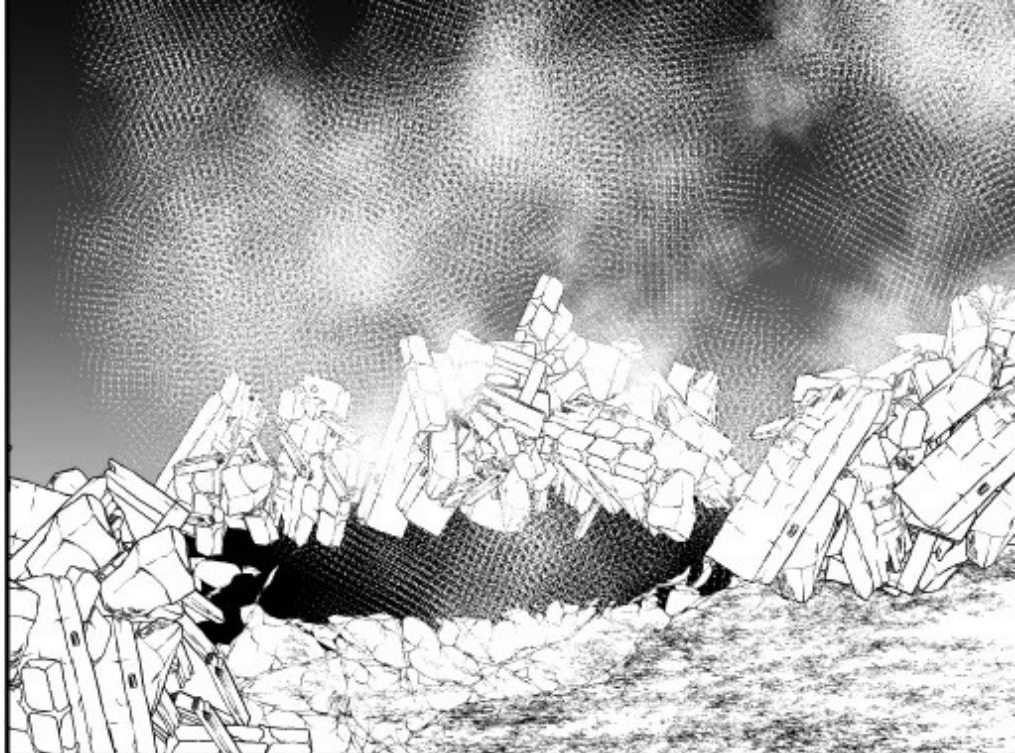
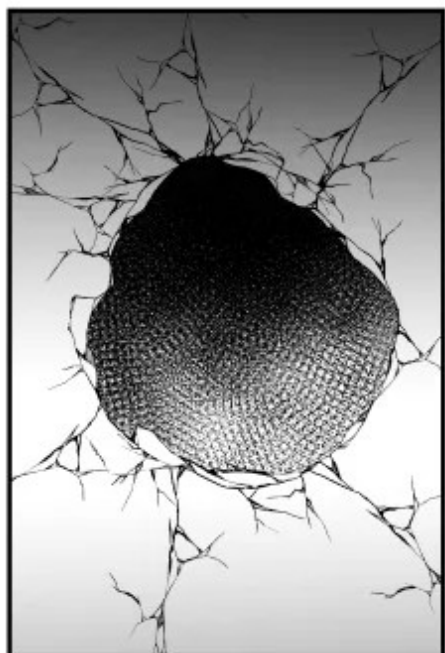


スイレンは
本心に
天才じゃった

せんじゆつ
仙術も
気の扱いも
すぐに
モノにした

だが

人を
愛することが
できなかった





仙人は
人を聡し
導く存在

スイレンは
ワシの
その教えだけには

理解を示すことは
なかった

そして
奴は姿を
くらました

風の噂で
生きているのは
耳にしたが

ワシの宝具を
狙って
くるとは…











せんになしろう
仙人掌





コレを
使わせるとは
人が悪いって
師匠……

アレは……

こうふう
黄風を
起こす宝具

お師匠様め

パラしたな……

確か
こうふうかい
黄風怪とかいう
妖魔が持っていた筈

退治されたの？
風怪

いや
そんなことより

残念
だったな

幻術でしょ？

アンタの
能力

あの
花の化け物も
師匠の死体も
全部偽物

そしてその
能力の起因は

煙



ならこの宝具で
その煙ごと
吹き飛ばせば

能力は
発動できない

.....



思えば
アンタと
初めて
会った時から

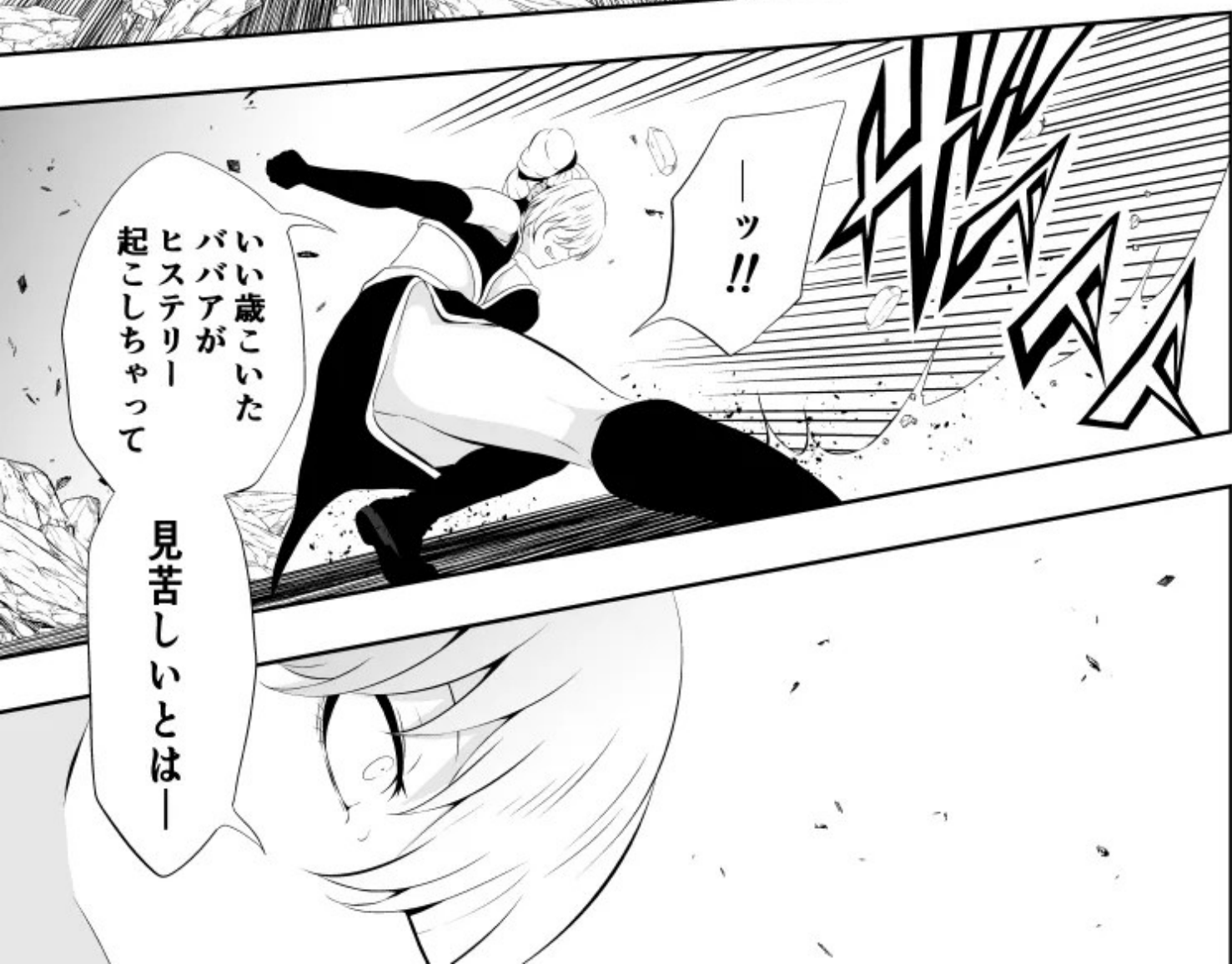
そこらじゅうに
煙が充満してた

人のこと
小娘呼びして
煽っというて
仕込みは
バッチリって



良い性格してますね

クソババア





ソ・レ・は

日出ずる国より
大陸に渡ってきた

呪われし
封印されし
宝具

くそッ！

挑発に乗るフリして
本命はソッチだったか

——とに
いい性格
してるわ

その封印が

解かれた

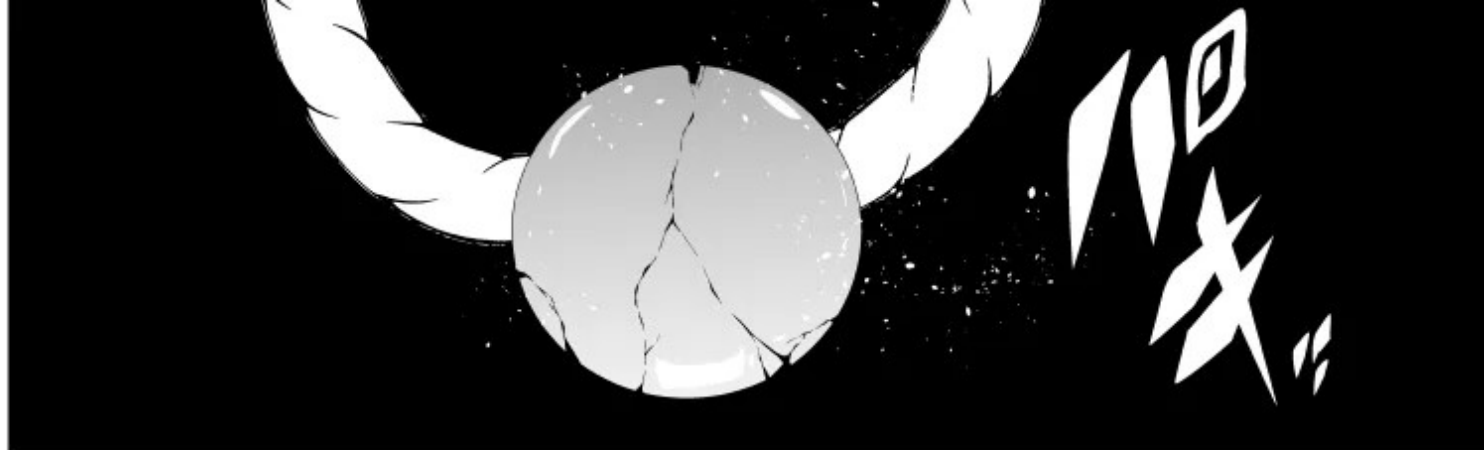
芭蕉扇ばしやうせん







がっ!!





あッ...

うあ...

XHX
XHX

XHX

あら

終わり？

マズい……

あの宝具も
風を操れるのか……

しかも
威力も範囲も
桁が違う

上位互換も
いいところじゃん

……どうする？



なんだ

元気じゃん



ひとたび
仰げば
風を呼び

ふたたび
仰げば
曇を呼び

みつつ
仰げば
雨が降る



違う…
これは風を
操るんじゃないくて

あッ

うえ…っ

天候を—

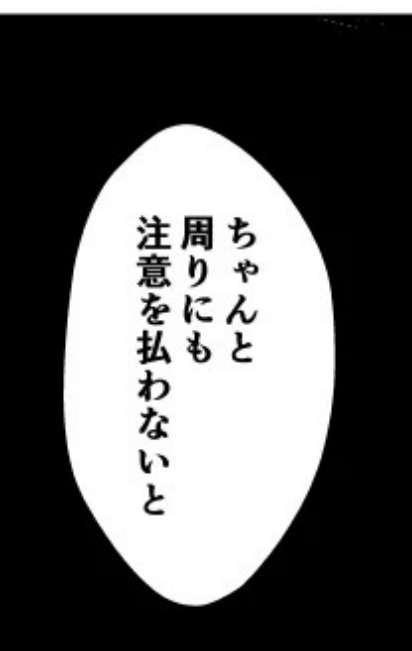
おれんじ





ぐろ……ッ

ぎッ……





夢幻泡影



ひびッ!!

こんな
幻術ごときにッ!!

いくら
足掻こうとも

実体のない
幻に囚われた
時点で
アナタは
夢の中

夢幻の
快楽にオチて
いきなさい

あう

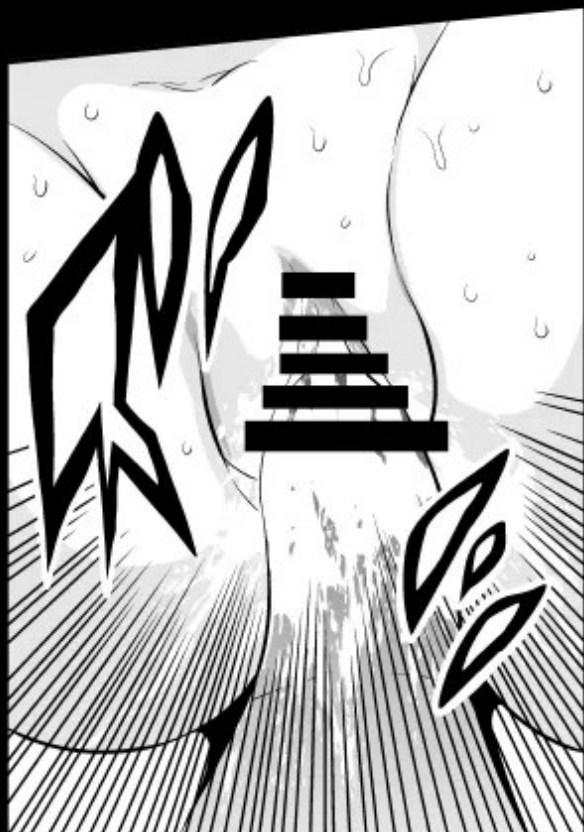
ああああ

うう

うう
うう
うう

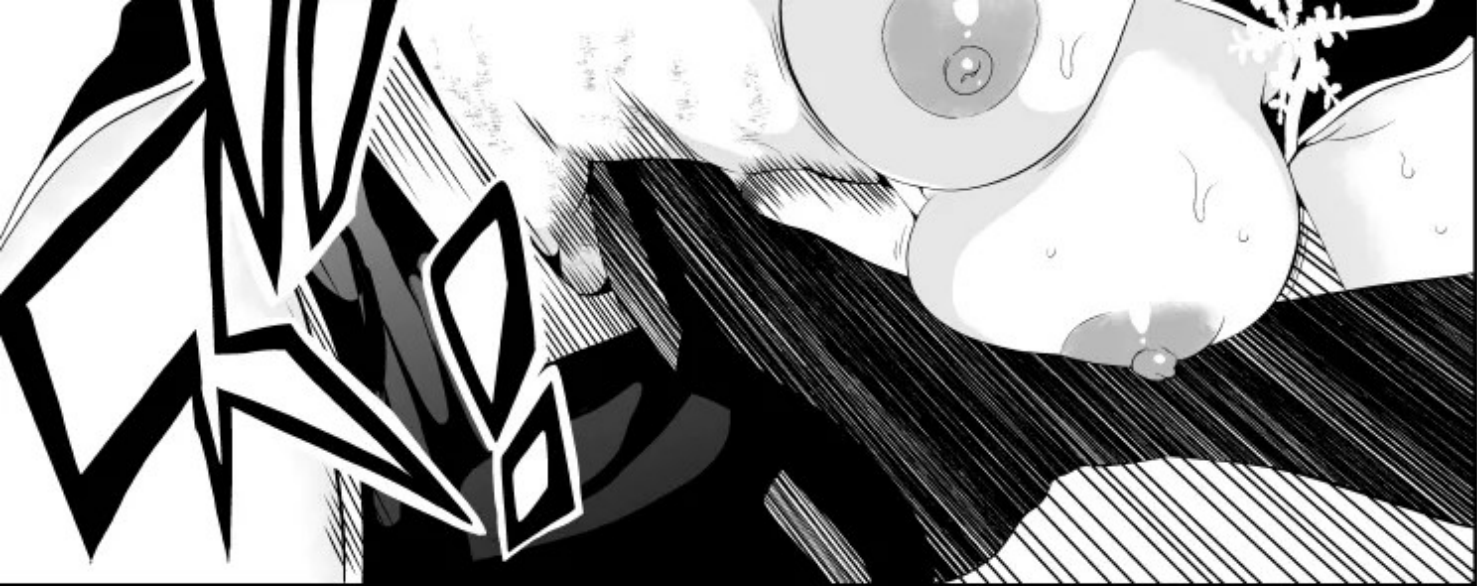
うう
うう
うう

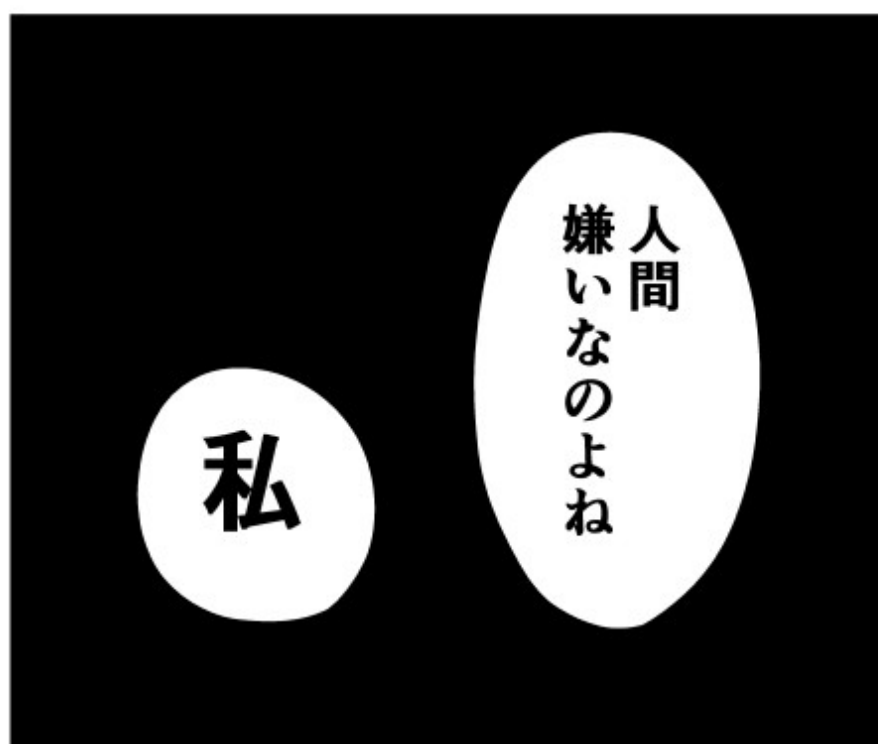
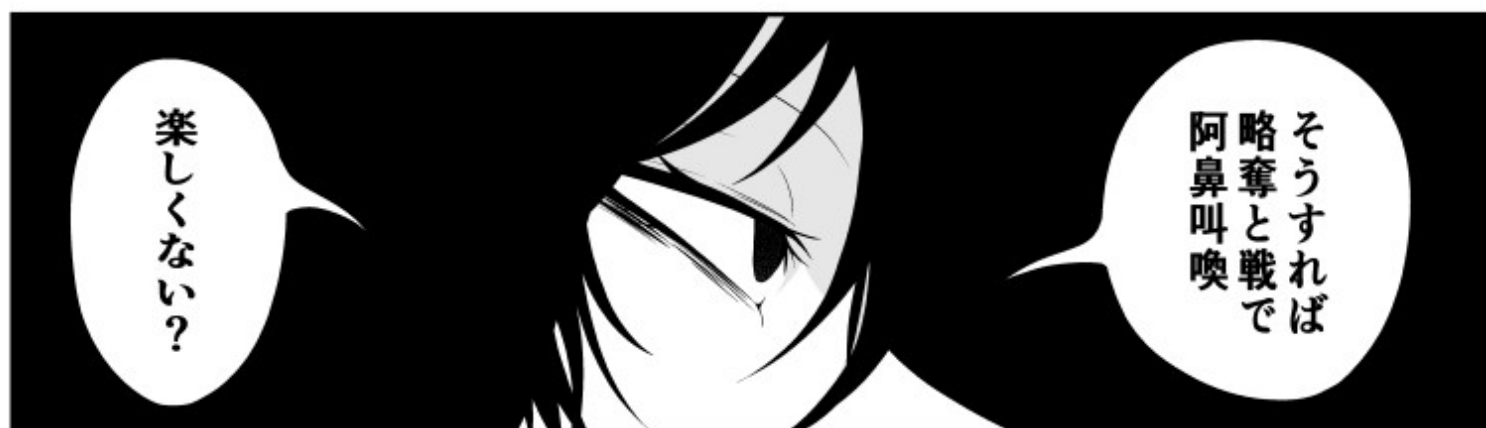












別に人間に
恨みとかは
ないのよ

生まれ持った
モノなのかな

生理的に
無理

でも
好きになる為に
頑張ったのよ

仙女になって
百年以上かけて
寄り添って
尽くしたけど

無理だった

私に
人間は
愛せない

そうなると
辛いわよ

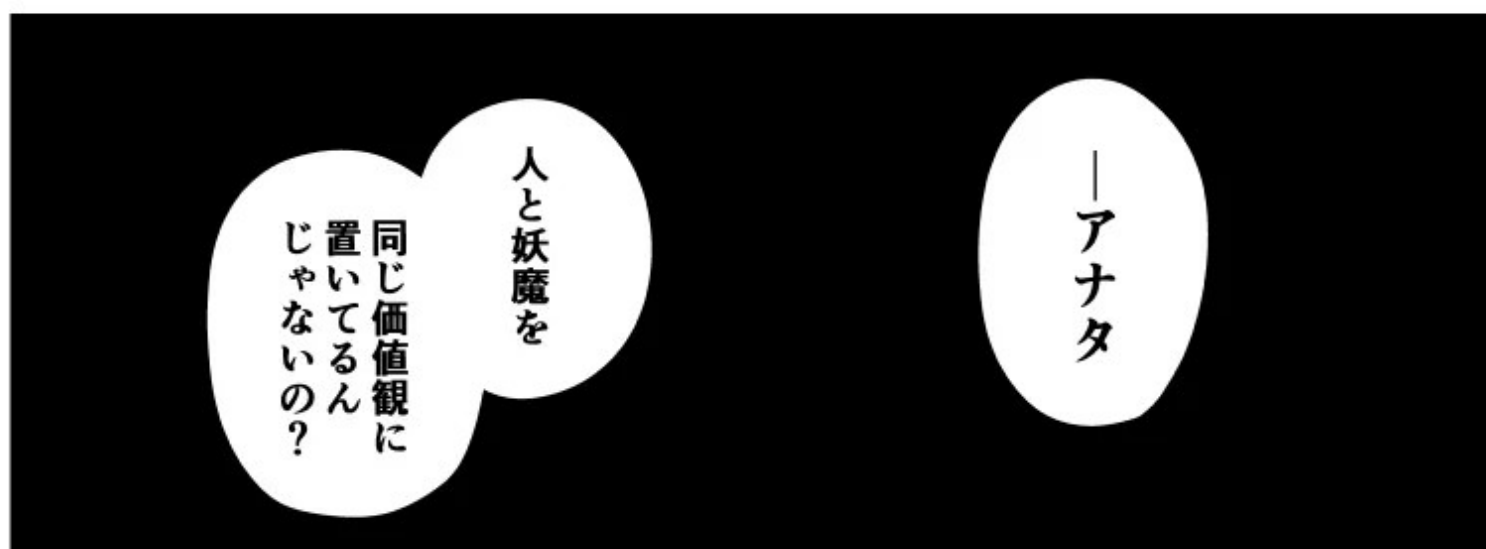
世の中から
はじき出された
気分

だからね













どう?

直接この宝具の
呪詛を
送り込まれる
感触は

おッ!!

えろ!!

おおおお

“気”を扱う
仙人の私達に
としては
呪詛なんて

“気”の流れを
悪くする
毒みたいなモン
だからね

ぎっ...

ッッ



このまま呪詛を
流しこんだら
どうなるのか…

ちよつと
興味があるかも



真っ黒に染まって
妖魔に
なったりして♪



…そういえば

















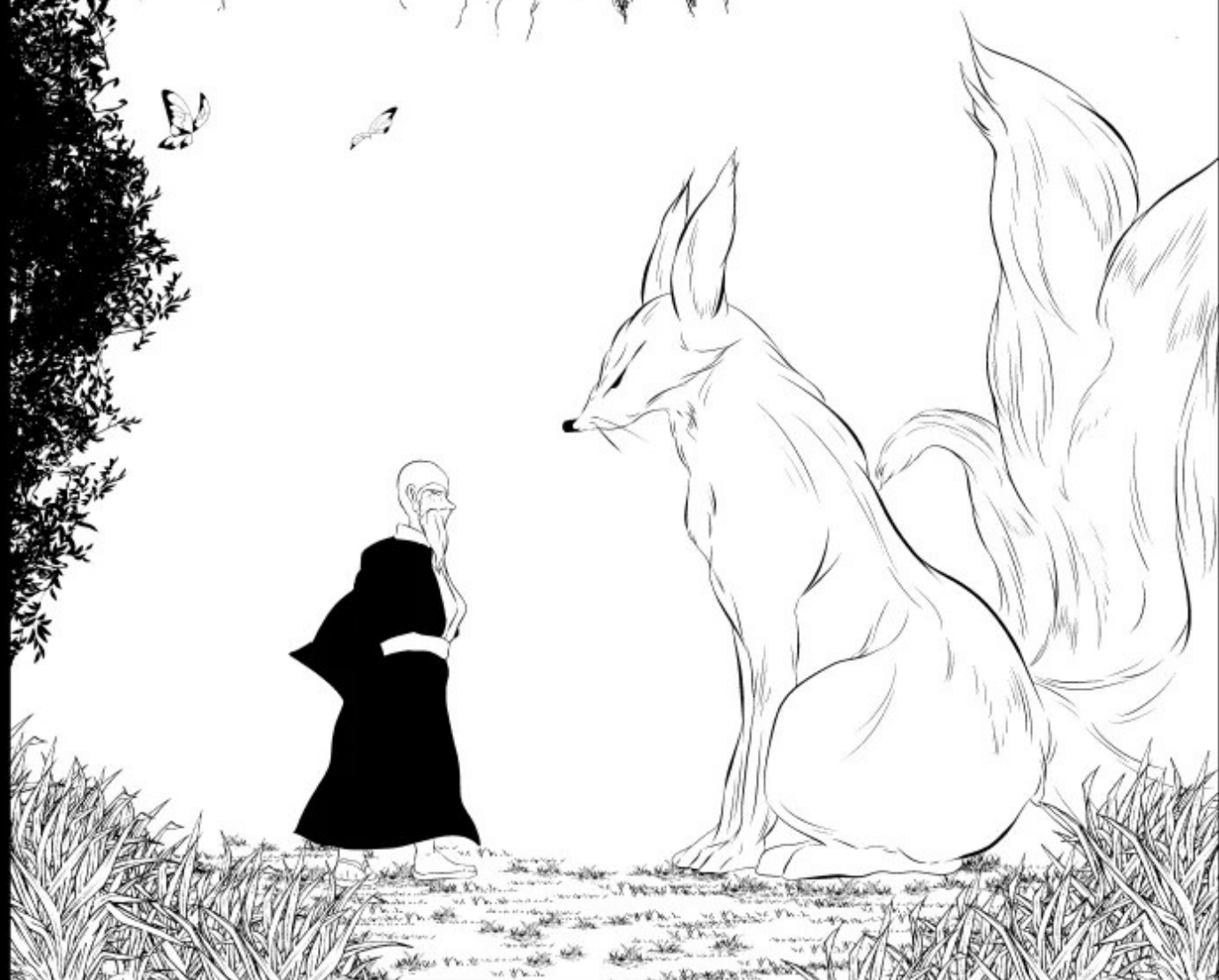








妖魔に
育てられた
人間じゃ……





※この物語はフィクションです。
実在の人物・事件などにはいっさい関係ありません。
本作品の無断転載・加工・複製を禁じます。
尚18歳未満の閲覧 購買は禁止です。

サークル Aries